

佐々木小教育目標 ◎自分で深く考える子◎思いやりをもって助け合う子◎がんばってやりとげる子



佐々木小

第 8 号
令和 4 年 12 月 22 日
佐々木小学校
新発田市則清 8 5 6
Tel 0254 - 27 - 2011

子どもたちを支えてくださる全ての方々に感謝 ～「お陰様」の心～

校長 齋藤 博敏

台風 14 号による臨時休業、新型コロナウイルスのこれまでにない感染拡大、ここに来ての思いがけない大雪、そして、“警報級の大雪”が予想される明日は臨時休業等、本当にいろいろあった 2 学期でしたが、**お陰様**で、全校児童 126 名、大きな事件や事故に巻き込まれることなく、本日、無事に第 2 学期の終業式を迎えることができました。

「お変わりございませんか」「はい、**お陰様**で…」私たちは、昔から、このような挨拶を大切にしてきました。「**お陰様**」という言葉には、諸説ありますが、次のような説もあります。

昔、旅人が暑い夏の日差しをしのぐために木の陰で休んだり、また、雨や風を防ぐために木の陰で雨宿りをしたりしました。その木の陰に「お」を付けて、「お陰」、さらに「様」を付けました。そこには「お陰様」で旅を続けることができましたと感謝する心が込められています。木は旅人のために枝を張り、葉を茂らせているわけではありません。木はただ木として生きていただけですが、昔の人は、木のお陰で旅を続けることができた自然の支えにも感謝する心で生活していました。



今学期も、子どもたちは、たくさんの方々に支えられ学びを深め、充実した学校生活を送ることができました。

生活科・社会科、総合的な学習の時間では、校外に出掛け、先々で様々な活動や体験をさせていただいたり、講師として来校いただき、貴重なお話をさせていただいたりしました。また、外国語科・外国語活動での敬和学園大学の教授・学生さん、食育指導では西調理場の栄養教諭の方々、そして、読み聞かせボランティアの皆さん等、本当にたくさんの人たちから御協力いただきました。もちろん、毎日子どもたちに励ましの言葉を掛け、送り出してくれる保護者の皆様、子どもたちの健やかな成長を見守ってくださる地域の方々の支えは言うまでもありません。感謝の気持ちでいっぱいです。

こうした様々な活動や体験、たくさんの人たちとのふれあいを通して、子どもたちは自身の学びを深めるとともに、自分たちが多くの人たちに励まされ支えられているという「**お陰様**」の心に気付いていくのだと思います。

最後になりましたが、

今学期も、学校のためにたくさんのお理解とお協力をいただきありがとうございました。保護者の皆様、地域の皆様に、心より感謝申し上げます。

よいお年をお迎えください。

感謝